

一 関市社協

# 藤沢支部

ふれあいネットワーク

## だより

一関市社会福祉協議会藤沢支部

ヘルパーセンター藤沢 訪問入浴センター藤沢  
介護支援事業所藤沢

■支部事務所 藤沢町藤沢字町裏 55 番地

☎0191-63-5122 (藤沢支部)

☎0191-63-2936 (ヘルパーセンター)

■発行 令和6年3月25日



## 思いやりの気持ち

## キャップハンディ体験で育む

## 藤沢小 & 藤沢中



【白内障ゴーグルを着用して職員の説明に熱心に耳を傾ける藤沢小の児童(写真左)と車いすを体験する藤沢中の生徒たち】

### 高齢者疑似体験や 車いすの操作学ぶ

社協では、各校に出向いて車いすの操作を指導するなど、福祉学習を支援しています。

令和5年度は、藤沢小学校と藤沢中学校で、思いやりの気持ちを育む『キャップハンディ体験』を学習し、受講した子どもたちが、体験を通して、高齢者・障がい者への接し方、気持ちを学び、福祉に対する意識を高めました。

藤沢小学校(4年生31人)では11月1日に開かれ、白内障ゴーグルを着用して、普段とは違う見え方などを体験したほか、車いすの試乗、さらに白杖体験で視覚障がいの理解を深め、相手の立場に立って考え自分のできることは何かを学びました。

また、2月26日には藤沢中学校(1年生49人)でも、高齢者疑似体験でサポーターを付けた歩行を体験したほか、車いす体験では、試乗時と介助時を比較して、難しかったこと、怖かったこと、どうすれば不安を減らせるかなど、相手の立場を思いやる気持ちの大切さを学習しました。

# 藤沢支部事業(行事) 令和5年度を振り返る

## ◆(藤沢・西口・本郷・黄海・徳田・新沼・保呂羽・大籠)

敬老事業は、多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、健康長寿を祝う目的で、社会福祉協議会(社協)が市から委託を受けて実施しています。令和5年度は市、社協、住民自治協議会(8地区協議会)の3者合同主催によって進められ、市からの記念品(全員の記念品、米寿記念品)のほか、地区独自のお祝い品を各自治会などの協力を得て対象者に配布しました。地区ごとに当祝者名簿も作成しました。藤沢地域の当祝者数(R5.7.31 現在)は、1,246名(男451名、女795名)、88歳の米寿者は82名(男25名、女57名)でした。写真は米寿の記念品を受け取り喜びの当祝者(新沼地区)。



## 藤沢地域敬老事業

### 健康長寿を祝う



## ◆10/28~29 (市民センター&文化センター)

藤沢地域産業福祉文化祭の福祉部門として10月28~29の両日、社協福祉交流まつりが開かれました。作品展示、福祉販売、赤い羽根募金の3コーナーに多くの来場者で賑わいを見せました。



## 福祉交流まつり大盛況

### 各会場で賑わう



このうち、作品展示コーナーでは、町内のサロン団体や福祉施設から200点ほどの出品があり、会場となった市民センターに多くの皆さんが訪れました。文化センター前庭の赤い羽根共同募金コーナーでは、藤沢小学校の児童と民生委員の参加により募金活動に取り組んでいただき、多くの来場者から協力をいただきました。写真は、赤い羽根のシールを藤沢小の児童たちから付けてもらう募金協力者。

## ◆11/22 (縄文ホール)

第27回目を数えた藤沢町金婚を祝う会が11月22日に藤沢文化センター縄文ホールで開催されました。行政区長と民生児童委員の皆さんに協力をいただき参加を募り、今回は11組のご夫妻に参加いただきました(昨年22組)。



## 金婚を祝う会

### 結婚50周年を祝う

この行事は、旧藤沢町時代から続いています。市内でも藤沢支部のみが毎年企画し、今後とも健康で活躍されることを願いながら、結婚50周年を迎えたご夫妻を地域で祝福しています。当日は、記念撮影、式典のほか、日本舞踊、ピアノ&フルートの生演奏のステージ鑑賞を楽しみ、参加者は50年の歩みをかみしめていました。写真は、式典前に全員で記念撮影をする参加者の皆さん。



# ♡ ひとり暮らし高齢者の集い

## ◆3/1 黒崎仙峡温泉

ひとり暮らし高齢者の集いが陸前高田市の黒崎仙峡温泉を会場に開かれました。三陸道を通りながら気仙沼湾横断橋などの復興状況を送迎バスの車窓から見学したほか、陸前高田と大谷海岸双方の道の駅に立ち寄り、買い物なども楽しみました。

## 温泉など楽しむ



今回の集いには、15名の高齢者の方々が参加。温泉でゆっくりくつろぎながら、昼食を交えて参加者間の交流を深め、楽しいひとときを過ごしました。

社協藤沢支部では、毎年同集いを企画していますが、民生委員さんに呼びかけていただいて参加者を募っています。令和6年度はなるべく早めの実施したいと思っていますので、ぜひご参加ください。

## インフォメーション【INFORMATION】



## 藤沢支部ではこんな事業も…

ご連絡ください。一関市社協藤沢支部 ☎63-5122

### ◇車いす貸出しサービスのご案内 無料です。

高齢者や障がい者の生活を援助するため、外出の際などに車いすをお貸しします。無料です。ご利用を希望される際は、お問い合わせください。



☆問い合わせ先 一関市社協藤沢支部 ☎0191-63-5122

### ◇心配ごと相談所～予約をお願いします。

身近な心配ごと・悩みごとについて、経験豊富な相談員が丁寧にお話を伺い、問題解決へ向けて助言を行います。相談は無料です。お聞きした相談内容、個人情報を守ります。お気軽にご連絡ください。※事前予約が必要です。

☆相談所開設日：毎月第2金曜日 午前10時～午後3時まで ◇相談会場：社協藤沢支部相談室

☆予約先：一関市社協藤沢支部 ☎0191-63-5122

### ◇サロン活動 取り組む団体を募集しています。

令和6年度・ふれあいサロン活動に取り組む団体を募集します。詳しくは、一関市社会福祉協議会藤沢支部(☎0191-63-5122)まで。【ふれあいサロン事業】社協では、地域住民が主体となり高齢者の閉じこもり予防や生きがい活動を行う団体に対し助成を行っています。

## 社協藤沢支部独自事業

## ライフヘルプサービスってなに？

藤沢支部で実施している高齢者等を対象とした住民参加型支援サービス事業です。

庭の清掃や草取り、家屋周辺の草刈り、話し相手、通院介助、部屋の片づけ、ゴミ出し支援など、日常的な困りごと(介護保険事業対象外のサービス等)を中心に、『有償ボランティア(協力会員)』の協力によって、サービスを提供する藤沢支部の

特色ある事業です。支援を希望される方は藤沢支部へ。

◇有償ボランティア募集中 ライフヘルプサービス事業の支える側「協力会員(有償ボランティア)」を募集しています。詳しくは藤沢支部へお問い合わせください。☎0191-63-5122



～ あたたかい善意。地域の支え合いに感謝 ～

昨年10月より展開してまいりました「赤い羽根共同募金」と、「歳末たすけあい募金」につきましては、戸別募金をはじめ、職域(職場)募金、学校募金等、地域のみなさまよりあたたかい善意をたくさんお寄せいただきました。心より感謝申し上げます。  
以下、みなさま方からご協力いただきました募金活動の結果をご報告いたします。



・赤い羽根共同募金・ ～ 自分の町をよくするしくみ ～

募金内訳	件数	金額	募金の内容	募金の使いみち
①戸別募金	2,032件 (43行政区)	1,231,700 円	各地区・福祉委員さん方のご協力により、各世帯からお寄せいただいた募金	○皆様から寄せられた赤い羽根共同募金は、岩手県共同募金会へ全額送金し、令和6年度の岩手県内の社会福祉施設等の施設整備や災害時の災害準備金、地域支え合い応援事業助成金、一関市社会福祉協議会の地域福祉活動事業費として配分されます。
②法人募金	3件	15,000 円	町内の企業や事業所からお寄せいただいた募金	
③学校募金	2件	30,187 円	町内の学校の児童会・募金活動の取り組みにより寄せられた募金	
④イベント募金	1件	25,176 円	イベント会場にて募金活動ボランティアの協力のもと寄せられた募金	
⑤職域募金	15件	137,522 円	町内の企業・事業所で働いている従業員の方から寄せられた募金	
⑥個人募金	17件	9,700 円	町内の個人の方からお寄せいただいた募金	
⑦その他募金 (募金箱等)	9件	5,452 円	・店舗や施設内に募金箱を設置していただき集まった募金 ・預金利息	
合計		1,454,737 円		

・歳末たすけあい募金・ ～ つながり ささえあう みんなの地域づくり～

募金内訳	件数	金額
①戸別募金	2,072件 (43行政区)	621,800 円
②法人募金	3件	25,000 円
③イベント募金	1件	10,000 円
④職域募金	13件	330,855 円
⑤個人募金	5件	10,500 円
合計		998,155 円

【 歳末たすけあい配分実績 】

・生活困窮世帯への配分	113世帯	753,000 円
・ひとり親世帯で高校3年生以下の未就労の子供へ図書カード配分	13人	26,000 円
・年末フードパントリー申込者(ひとり親世帯)へ一関市名産食品セット	4世帯	12,000 円
・子ども食堂実施団体への年末行事用セット	1団体	10,000 円

※募金額と配分額の差額は、一関市全域で調整されます。

◎ このほかに、藤沢岩手ライオンズクラブ様より灯油券(50,000円相当額)をご寄贈いただき、歳末たすけあい配分・ひとり親世帯に配分いたしました。

《 実績内訳 》

1, 戸個別募金	赤い羽根募金		歳末たすけあい募金	
	藤沢地区	646 戸	387,600 円	646 戸
黄海地区	548 戸	335,000 円	550 戸	165,000 円
八沢地区	502 戸	306,900 円	540 戸	162,000 円
大保地区	336 戸	202,200 円	336 戸	101,000 円

2, 法人募金

赤い羽根募金	(有)伊俊建設	JAIいわて平泉藤沢支店	サカイ産業(株)岩手藤沢工場
歳末たすけあい募金	(株)岩瀨建設	(有)伊俊建設	サカイ産業(株)岩手藤沢工場

3, 学校募金

赤い羽根募金	藤沢小学校児童会	黄海小学校ボランティア委員会
--------	----------	----------------

※ 敬称は省略させていただきます。

4, イベント募金

赤い羽根募金	社協福祉交流まつり
歳末たすけあい募金	藤沢町グラウンド・ゴルフ協会

※ お名前のみを 順不同で紹介させていただきます。

5, 職域募金

赤い羽根募金	(株)岩瀨建設	(有)伊俊建設	岩手サファリパーク	(株)SHOEI 岩手工場	(株)大昌電子岩手工場
	千葉歯科医院	藤沢小学校	(株)オヤマ藤沢工場	サカイ産業(株)岩手藤沢工場	
歳末たすけあい募金	ふじの実学園	第二ふじの実学園	ワークジョイふじの実	グループホームふじの花	
	一関市役所藤沢支所		一関市社会福祉協議会藤沢支部		



6, その他募金 (募金箱の設置協力)

赤い羽根募金	コメリ藤沢店	薬王堂一関藤沢店	Aコープふじさわ店	ファミリーマート藤沢店	文化センター
	JAIいわて平泉藤沢営業経済センター		一関市役所藤沢支所	一関市社会福祉協議会藤沢支部	



和やかなムードが漂った募金贈呈式(校長室)  
～ 黄海小学校ボランティア委員会 ～



マスコミの取材も受けて進められた募金贈呈式(体育館)  
～ 藤沢小学校児童会 ～



# まごころ寄付

～「地域福祉に役立ててください」と次の方々からご寄付をいただきました。ありがとうございました。～



## MAGOKORO

### 《一般寄付》

— 令和5年6月1日～令和6年3月14日分までを掲載させていただきます。—

・工藤 博信 様 (黄海字京ノ沢)	100,000 円	・皆川 哲也 様 (砂子田字八森沢)	50,000 円
・千葉 庄一 様 (徳田字平田)	50,000 円	・佐藤 寛史 様 (砂子田字火ノ田)	100,000 円
・高橋 京一 様 (黄海字天堤)	100,000 円	・及川 晋作 様 (黄海字箕ノ輪)	100,000 円
・佐々木 政實 様 (黄海字小日形)	100,000 円	・畠山 竹雄 様 (藤沢字荒屋敷)	100,000 円
・熊谷 敏 様 (保呂羽字大宝城)	100,000 円	・千葉 正志 様 (黄海字熊館)	100,000 円
・佐藤 詢 様 (藤沢字新地)	50,000 円	・葛城 ミヤ子 様 (藤沢字町裏)	100,000 円
・畠山 倉藏 様 (藤沢字荒屋敷)	50,000 円	・藤沢町芸術文化協会 様	20,000 円
・小山 忠久 様 (砂子田字境田)	100,000 円	・黄海地区住民自治協議会 (軽トラ市) 様	24,704 円
・首藤 和子 様 (大籠字大平)	100,000 円	・茶道裏千家 藤沢会 様	5,000 円
・高橋 和浩 様 (徳田字曲田)	50,000 円		

○皆さまから お寄せいただきました「まごころ寄付」は藤沢地域の福祉活動事業費に充てられます。特に「小地域福祉推進事業」では「藤沢町住民自治協議会」と連携しており、各自治会単位に助成され福祉活動の充実・増進を図るため使われております。

## 介護事業

# 笑顔と安心届けます。訪問介護

藤沢支部の介護事業は、ヘルパーセンター、介護支援、訪問入浴センターの3事業です。要介護状態や要支援状態にある方々が、可能な限り自立した日常生活を送れるよう、在宅福祉サ

ービス事業の運営を行っています。感染症防止に努めながら、利用者様の体調を伺い、毎日の生活を安心して過ごせるよう、相手の気持ちに寄り添い、笑顔で訪問させていただきます。

## ホームヘルパー急募

- ★利用者さんからありがとう、と言ってもらえる仕事をしませんか。
- ★訪問介護の仕事は、生活を支えるお世話ではありません。
- ★最後まで自分の家で生活したい。故郷で生きたい。
- ★そんな願いを持った高齢者の「想いに寄り添い」「共に生きることを実感し」「喜びを共有する」。★それが介護の仕事です。

藤沢支部では、訪問介護員を募集しています。詳しくは藤沢支部へお問い合わせください。☎0191-63-5122 または 63-2936



## 【一関市社協藤沢支部の介護事業】

【ヘルパーセンター藤沢】在宅での介護を受けられる利用者の方には、訪問介護員（ホームヘルパー）が家庭に訪問して介護サービスを行います。訪問介護員は、食事の際のお手伝い・排泄介助・入浴介助・洗髪等の身体介護や、清掃・洗濯・食事の準備等の家事援助を行います。

【介護支援事業所藤沢】障がい者の方の家庭を訪問し、日常生活の家事援助や身体介護サービスを提供します。

【訪問入浴センター藤沢】在宅で自力での入浴が困難な方で、いろいろな理由でデイサービス等の利用が難しく、家庭のお風呂を使って入浴介助が出来ない方のための移動入浴介護サービスです。入浴車に積載している特殊浴槽で、安心して入浴することができます。一関市社協では藤沢支部と東山支部のみが訪問入浴サービスを実施しています。

## 【一関市社協だより一本化と支部だより最終号のお知らせ】

藤沢支部で発行してきた支部だよりは、今回をもって最終号となります。これまで社協の情報は、本部発行の社協だよりと支部で発行している支部だよりの2本立てでしたが、令和6年度からは一本化し、新しい社協だよりとして再出発します。今後も藤沢支部の活動をはじめ、一関市社協の情報発信に努めて参りますので、引き続きよろしくお願いたします。